



うきふねおはなし会「クリスマス会」
(12月20日(土)小高区:浮舟文化会館)

タウン トピックス
Town Topics
mini
写真で見るまちの話題



北屋形三世代交流事業
(12月23日(祝)鹿島区:北屋形公会堂)



第1回
縄もじり・雑巾さし・雑巾かけ世界大会
(12月23日(祝)原町区:小川町体育館)

Kさんへの手紙

「千載一遇の大チャンス」!?

百年に一度と言われる金融危機や職場も住まいも失った派遣社員の問題など、昨年後半から新年にかけて暗いニュースばかりが続いています。そのような中、著名な評論家である長谷川慶太郎さんが「千載一遇の大チャンス」というビックリするようなタイトルの本を昨年の暮れに出版されました。早速読んでみると、「目からうろこ」の内容で、論点は次の4つほどあります。

- 一、自動車、工作機械、製鉄、原発建設など日本のものづくりと環境関連技術は他国が追従できないものであり、日本にはこれから益々有利な時代が来る。
- 二、20世紀は戦争とインフレの時代であったが、21世紀は平和とデフレの世紀である。そのデフレで行き場のなくなった個人の金融資産や年金基金、オイルマネーなどの余剰資金が金融・不動産バブルの底流にあった。これからは、その余剰資金を様々な社会資本の整備に投入することによって、世界は更に発展することができる。
- 三、デフレ経済は買う側である消費者にとっては極楽の世界であり、供給する側である生産者にとっては地獄の世界である。生産と供給する側の不断の革新が欠かせない。
- 四、今回の金融危機の中で日本の「円」を除いたすべての国の通貨が米ドルに対して大幅な下落となり、ヨーロッパのユーロさえも下がった。米ドルが世界の基軸通貨であることに変わりないし、これからも経済力・軍事力も含めアメリカ中心の世界は変わらない。

嘆いてばかりでは何も変わりません。危機こそチャンスととらえる前向きな発想と努力こそが次の時代を開きます。そんな想いで今年も頑張りましょう。ご家族皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。あわせて本年もよろしくお祈りいたします。

南相馬市長 渡辺一成
(二月五日記)